



# 町長回誌 No.108

町長日誌の第108号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

**10月19日(金)**

いやあ～寒くなりましたね！今朝は、町長室から見えるパンケ山の峰が白くなっていました。初冠雪です。昨日、出張で天北峠を通りましたら随分と紅葉が進んでいましたが、平野部では平年より3週間以上遅れているそうです。しかし、秋から冬へと自然界の時計は確実に針を進めていますね。

秋の風物でもある秋サケ漁、今年は不良年の予想に加え海水温が高く日本海側を中心に不漁なのですが、オホーツク海はお陰様で好漁の状況です。ただ、雄武・沙留と斜里が昨年実績を下回るようですが、まずまずの漁模様です。

農業においては、今年は牧草や飼料用コーンの質が良く、9月の厳しい残暑で牛たちの夏バテが心配ですが、順調に生乳生産がなされているようです。

林業においては、冬期間に野鼠や野兎そしてエゾシカの食害が甚大で、特にカラマツの幼木が壊滅の状態です。この被害は遠紋・西紋が特に深刻で、野鼠が好まないトドマツや赤エゾ松の苗木を補植しています。一方、成長したカラマツでも野鼠に根元の皮が全て食べられ枯れてしまう山も多いのですが、この場合は、伐採の補助基準に該当しない場合がほとんどで、北海道に要請を行っています。しかし、野鼠がカラマツを好むとは知りませんでした。円高のためEUからの輸入材が入り、思うように木材価格が上がらない中での被害は、笑いごとでない問題です。

**9月22日(土)～9月23日(日)**

STVラジオ開局50周年記念事業として、普段から日高晤郎ショーに馴染みの町や高校などが特産品などを持ち寄って、それぞれのPRだけでなく連携したイベントを目指した「風土&FOODフェスティバル」がSTV本社前広場で開催され興部からも商工青年部の皆さんに参加してもらいました。同時期に大通公園8丁目広場で「オータムフェスタ」も開催されていましたが、どちらも盛況で、特にSTVの方は売り上げが良かったようです。このイベントは、ただ特産品を提供するのではなく、品物が出来る過程では、材料は勿論、調味料や加工技術、包装や販売などがありますが、これらは、その町の地理的環境や歴史など「風土」が生み出したもので、この中から美味しい「FOOD」が作られると言う発想で企画したイベントです。お陰様で大盛況でしたのでSTVからは、来年も行いたいと連絡がありました。

**10月10日(水)**

以前から町として取り組んでいます、家畜糞尿バイオガス事業については、民主党政権の事業仕訳により建設補助事業が無くなり困っていましたが、今年7月にはガス発電の単価が39円(消費税込で40.95円)となり、農水省も建設補助を来年度から出す考えになりました。町としては、この事を見極めた上で農家の負担額を算出する考えですが、元々、牛の糞尿は消化が良過ぎてガス発生量が少ないので、出来るならば何か？の副資材を加えてガス発生量を増やしたいことと、畑に散布する安全性や、臭気や河川・海に対する環境の問題も含めて、専門である帯広畜大と連携して取り組むため、長澤学長さんを表敬訪問しました。今回、道の補助金も受けて取り組むことになり、学長からも「研究だけに終わらせないで実用化に向けて地域と一緒に取り組みたい」とのお話を頂き、産学官連携での推進を確認して参りました。

さて、役場では現在、来年度の予算づくりの作業に入っています。10ヶ年の財政再建期間が今年度で終わり若干積立金も増えましたが、決して楽な懐具合ではありません。しかし、新しい10年が始まるスタートの年になりますので、私は、新たに「より住みやすい環境づくり」をまちづくりの重点テーマとして進めたいと考えています。21日(日)は両中学校の学校祭・文化祭です。次の28日は、両小学校の学芸会と続き、季節は、いよいよ冬の準備に入ります。咳の出る風邪が流行っているようですので、暖かくしてお過ごしください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。